



図書館を使った
調べる学習
コンクール

第5回

図書館を使った 調べる学習コンクールに 参加しよう！

「清瀬市 図書館を使った調べる学習コンクール」を今年も実施します。

令和6年度もたくさんの応募があり、中学生の作品から全国コンクールで奨励賞を受賞しました。まだ参加したことがない人もぜひ挑戦してみてください。



作品のテーマは自由！



作品の作り方に迷ったときは、こんな本を参考にしてみては？

「調べるっておもしろい！！」 図書館振興財団／監修 岩崎書店
「都立中央図書館で学ぶはじめてのレポート・論文作成ガイド
改訂2版」 東京都立中央図書館管理部企画経営課／発行

駅前図書館・元町こども図書館に調べる学習コンクール
関連の展示コーナーを作っています。



コンクールの募集期間は令和7年8月27日（水）から9月10日（水）までです。応募方法等、詳しい内容は図書館のホームページや、館内のポスターでお知らせしています。
みなさんの応募をお待ちしています。

Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.60 2025.7

清瀬市立図書館

注文に時間がかかるカフェ

大平 一枝／著
ポプラ社



100人に1人の割合。これは全国に120万人いる吃音(きつおん)の方の人数です。吃音は、言葉を「繰り返す」「引き伸ばす」言葉が「出にくい」の3種に分けられます。この人々の存在があまり知られていないのはなぜでしょう。それは吃音の当事者が理解されない悲しみやもどかしさから、押し黙り、孤独の中で生きているからではないでしょうか。

若者に自分と同じ思いをさせたくない。その思いから「注文に時間がかかるカフェ」を開いたのが奥村安莉沙さんです。

吃音のためにうまく言葉が出てこない。そのことで何度もくやしい思いをして、夢を見ることさえあきらめてきた。言葉がつかえてもいい。そんな場を作ろう。これは心の奥にしまい込んできた夢を叶えるため、一步を踏み出した現在進行形の記録です。生きにくさを超えて、自分らしさを生きていく。その勇気をそっと後押ししてくれる一冊です。

(元町こども図書館 鶴岡)

みなさんにはよく使う「文字」ってありますか？現代の私たちの生活の中では手書きばかりではなく、パソコンや携帯電話に文章を入力する機会も増えました。伝えたい言葉や気持ちをより簡単に伝えられるスタンプや絵文字が大活躍していますね。日本の昔の人達も、中国大陸から伝わった漢字をより伝えやすく、アレンジをしながら利用してきました。

この本は、そのような日本製の漢字「国字」を美しいイラストとともに紹介しています。現代ではあまり使うことのない漢字もありますが、どの字にも「なるほど」や「へえ！」が詰まっていて、イラストを眺めながらその漢字の成り立ちを読むと、日本の美しい風景や、昔の人々の暮らしに思いをはせることができます。あなたもこの本でお気に入りの一文字と出会ってください。

(駅前図書館 浅井)

美しい日本の一文字

笹原 宏之／著
自由国民社



夏休みに入ったことで突然ポッドキャスト(インターネットを通じて音声などを配信する番組ラジオのようなもの)を始めてみた、なつみ、橘、モモ、れななどの4人の女子中学生。

そのポッドキャストを偶然にも見つけて、はまってしまい文字起こしを始めた不登校の男の子。

いつしか男の子にとって大切な番組になり、ポッドキャストで不登校の子からのお便りが紹介されていたことをきっかけに、自分がどうして不登校になっていったのかを見つめ直していきます。

仲の良い中学生のリアルな会話が読み手に勇気を与えてくれる一冊です。

(駅前図書館 内田)

全校生徒ラジオ

有沢 佳映／著
講談社



七月の波をつかまえて

ポール・モーシャール／著
岩波書店



カリフォルニア州サンタモニカのマリンスポーツが盛んで夏をすごすのにぴったりの街に、7月1日、母親とふたりでロサンゼルス空港に降り立ったのは、12歳のジュイエ。

人気のリゾート地だけれど、ジュイエは好きでここにきたわけじゃない。1ヶ月ママがこちらの病院勤務になるからだ。13歳の誕生日の7月31日までこの街にいないてはならない。

パパが家を出て行ってから、いろいろなことが怖くなって、ゴシックメイクで心をつくってしまった彼女と、到着した日に出会った一人の少女との夏を、一緒にすごしてみませんか。

(駅前図書館 長谷川)